

宜 基 渉 第 45 号
平成 30 年 6 月 12 日

沖縄米国総領事
ジョエル エレンライク 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

普天間飛行場へのジェット戦闘機飛来並びに米軍機による夜間騒音被害
について（抗議・要請）

まちのど真ん中にある普天間飛行場は、市街地と隣接していることから、墜
落の危険性や、騒音等の基地被害が市民の大きな負担となっております。

特にジェット戦闘機をはじめとする外来機の飛来については、市民生活に甚
大な影響を与えることから、本市はこれまで、あらゆる機会を通じて普天間飛
行場への外来機の飛来禁止を強く要請しております。

しかしながら、6月8日午前8時から同8時6分頃にかけて、ジェット戦闘機
が相次いで普天間飛行場に飛来し、市内全域で非常に大きな騒音が確認されま
した。特に、上大謝名地区におきましては、最大 121.1 d B もの騒音が測定され
ており、「今まで聞いたこともない音で近い距離で飛んでいて恐怖を感じた。」
といった市民の悲痛な声が本市に複数寄せられております。

加えて、夜 10 時以降の夜間騒音の被害も常態化しており、市内全域で夜間騒
音が多数測定されるとともに、夜間騒音等の被害を訴える苦情が増え続けてお
ります。先週だけでも苦情が 20 件寄せられ、「子供も寝られなくて困っていま
す。」といった市民の切実な訴えが後を絶ちません。

市民の負担は既に限界を超えており、市としても市民が実感できる危険性除
去及び基地負担軽減を強く求めている中で、このような更なる負担となるジェ
ット戦闘機の普天間飛行場への飛来や米軍機による度重なる夜間騒音被害を、
断じて容認できるものではなく、極めて遺憾であると言わざるを得ません。

つきましては、外来機であるジェット戦闘機の普天間飛行場への飛来並びに
米軍機による夜間騒音被害に厳重に抗議するとともに、貴職から米軍に対し、
市民生活に十分配慮するよう強く申し入れていただくようお願い申し上げます。